

県内総合

建設情報*lwate*

橋梁長寿命化計画を見直し 二戸市 橋梁点検は土振協が担当

二戸市は2026年度、市が管理する171橋を対象とした橋梁点検業務を県土木技術振興協会に委託して進めている。今後は点検結果を踏まえて橋梁長寿命化修繕計画の見直しも行う考えであり、点検の結果を踏まえて優先的に対応する橋梁を見直すなど、スケジュールの組み直しを行っていく。

市が管理する橋梁は、橋長15㍍以上が55橋、橋長15㍍未満が116橋の計171橋。主な橋梁は、馬場長瀬線「斗米橋」(橋長170.0㍍)、鍵取穴牛長久保線「穴牛大橋」(橋長64.8㍍)、外川砂子前線「安比橋」(御辺地地区、50.0㍍)、御山線「御山橋」(浄法寺地区、57.9㍍)など。

このうち1979年供用の斗米橋は、国道4号と一般県道二戸一戸線を結び、市内の中でも重要度が高い橋梁の一つ。全幅員9.80㍍、有効幅員6.50㍍で、橋梁形式は4径間の鋼Ⅰ桁橋。すでに修繕は完了している。

市では現在、橋梁点検を県土木技術振興協会に委託して進めている。主な業務内容は床版などをはじめとする各種部材の劣化状況な

どを調査するもので、近接目視調査を中心に行う。委託期間は27年3月末までを予定している。

26年度には、橋梁長寿命化修繕計画の見直しも予定している。年末から年明けごろにも点検の成果が上がってくる見通しであることから、点検結果を基に計画の見直しにも入っていく考え。

市の長寿命化計画は、事後保全管理から予防保全管理への転換を図ることを基本方針としており、積極的に予防保全型管理を行う「グループA」、一般的な予防保全型管理を行う「グループB」、維持的な予防保全型管理を行う「グループC」、経過観察型管理を行う「グループD」の4段階にグループ化して維持管理水準を設定。健全性と維持管理水準によ

る対策の優先順位を定めて、維持管理の最適化を図っている。

見直し後の計画も基本方針や維持管理水準の設定などについては大きく変える予定はなく、橋梁点検の結果を反映させて、健全性の判定区分が早期措置段階の「Ⅲ」となった橋梁があれば優先的に修繕を行うなど、スケジュールの組み直しを行う考え。

市ではこれまで、橋長15㍍以上の橋梁への対策を先行して進めており、15㍍以上の橋梁への対策は一巡していることから、今後は15㍍未満の橋梁に対策の中心が移っていく見通し。26年度の点検で大きく状況が変わっていなければ27～31年度の5カ年で「Ⅲ」判定の橋梁への対策を完了させ、予防保全型管理への本格的な転換を図っていきいたい考えを示している。



馬場長瀬線の「斗米橋」

土地引き渡しが来年 1月31日以降に延期

＝関市・NEC跡地＝

一関市は、取得し活用を予定するJRノ関駅東口のNECプラットフォームズ(株)一関事業所跡地について、同社からの土地の引き渡し時期が、当初予定の10月から来年1月31日以降に延期となることを発表した。現在進む解体工事の工期が延伸となることに伴うもので、市では解体工事完了後に土地引き渡しの手続きを進めるとしている。

NEC跡地は、全ての建屋を同社が解体撤去し、更地の状態で市が取得して利活用を予定する。跡地は約8.36㍍。

引き渡しに向けては、建屋などの解体や土壌汚染の対策工事を実施。一連の施工は(株)フィールド・パートナーズが担当している。

跡地の土壌は、敷地の一部から土壌汚染対策法の基準値を超える

特定有害物質が検出され、県から「形質変更時要届出区域」に指定されていることから対策工事が進められ、形質変更時要届出区域の指定解除に向けたモニタリング調査を2年。作業一連が完了した後に、引き渡しを受ける流れとなっている。

施工は現在、解体2期工事として舗装や外構、地下構造物などの解体が進む。施工は、今月30日までの工期を当初予定していたが、跡地の地中に残置している口径10㍍の鋼管井戸15本の撤去に期間を要するため、27年1月31日までに変更する予定となっている。

跡地に関し市は、①公募中止に伴う今後の進め方②跡地全体の開発を見据えた基礎的なインフラ整備③市民ニーズを基に、先行して整備が必要と考える機能④利活用コンセプトの具体案に係る関係事業者からの意見聴取一に、内部で検討を進めている。

市では、基礎的なインフラなどの整備を先行して進めたい考え。

27年度から設計に入り、28年度に施工。29年度に各種施設工事、30年度以降に完成した施設の順次利用開始の流れを想定している。

久連坪の沢(2)砂防 指定地申請書の作成

＝県大船渡審査指導監＝

県沿岸広域振興局大船渡審査指導監は27日付で、条件付一般競争入札で実施する「久連坪の沢(2)砂防指定地申請書作成業務委託」を公告した。参加申請書の提出期限は11月5日正午。入札は同月17日に予定されている。(関連7面)

業務対象地域は陸前高田市横田町字宇南沢地内で、委託期間は96日間と設定されている。業務内容は、砂防指定地申請書作成一式。

同業務では、宇南沢地区の「久連坪の沢(2)土石流危険渓流：土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域内」における砂防指定地申請書の作成を行う。

杜陵高校の遠隔授業配信 施設整備のプロポ公告

＝県教育委員会・県建築住宅課＝

気仙川筋ほか河道掘削など公告

＝27日付県、条件付工事3件・業務1件＝

公告・予告

県保健福祉部

県保健福祉部障がい保健福祉課は26日付で、条件付一般競争入札で実施する中山の園敷地内立木伐採業務委託を公告した。入札参加希望者は入札参加申請書を11月6日16時までに、同課に提出すること。入札は同月12日を予定している。

▽中山の園敷地内立木伐採業務委託
施行地 一戸町中山字軽井沢139番地14

期 限 2027年1月29日
業務内容 敷地内立木伐採127本(概算数量)
入札参加資格 2025・26年度県管建設工事競争入札参加者資格者名簿の造園工事または土木工事に登録されている者で、県北広域振興局二戸地区管内に建設業法に基づく主たる営業所を有する者。また、2026・27年度森林整備事業請負契約等指名競争入札参加資格者名簿に登録されている者
参加申請書の受付 2026年11月6日16時まで
入札・開札予定日時 2026年11月12日14時

県教育委員会教育企画室・県土整備部建築住宅課

県教育委員会教育企画室と県土整備部建築住宅課は27日付で、設計・施工者選定プロポーザル方式で実施する岩手県立杜陵高等学校遠隔授業配信施設整備事業を公告した。参加表明書の提出は11月13日17時までで、技術提案書の提出は12月9日17時まで。

▽岩手県立杜陵高等学校遠隔授業配信施設整備事業

施行地 盛岡市上田二丁目3番1号

履行期限 【設計業務】2027年11月10日(予定)【建設工事および工事監理業務】2029年3月末(基本最長工期)

業務内容 【施設用途】遠隔授業配信施設【延べ面積】約1000㎡【業務の内容】設計業務、工事監理業務および建設工事(解体工事を含む)

(7面へつづく)

いわて防災学教室

災害から学び、災害に備える



8月8日、土地勘のないまちで

岩手大学理工学部システム創成工学科准教授

松林 由里子

8月8日、国土交通省岩手河川国道事務所一関出張所が実施した、磐井川陸間の操作訓練を見に行った。橋を通行止めにして、磐井橋の左右岸ゲートが閉鎖された。道路ごとかさ上げすることが難しいと言うことで、通行止めを伴う対策で、高さ約50cmのゲートが前後の堤防との高さの差を補う。

帰り道、4号線を北に向かって車を走らせていた。奥州市を走っていたころ、雨が強くなった。日没までは時間があるのに、暗くなり、雨で視界が悪くなった。短い時間に道路は冠水して、わずかな勾配の差や凹凸によって、水深が深い場所ができたが、どのくらい深いかは、見えない。前を走る車も対向車線を走る車も、大きく水しぶきをあげながら走っている。西側の高台から4号線に下りてくる坂道を、濁った水が流れ下ってきて、道路の端は、濁った水たまりで深さもわからなくなった。

前後の車が止まらないから、半信半疑で走り続けてしまうが、ブレーキが利きづらくなっている気がする、ハンドルは利いているのか、軽自動車の車高では、そろそろ床面まで水が届くのではないか、いずれ冠水した道路でエンジンが止まるのではないかと、などと思い、冗談ではなく動悸が強くなった。低くなっている道路の端を避けて、中央線に近づいていってしまう。

走りながら、走馬灯のように、大雨災害の危険性を説明するときに、冠水した道路やアンダーパスで車のエンジンが止まる、とか、膝以上の水深の道路は歩くのが危険だ、とか、強い雨が降って

危険な中を移動するな、とか、言っていたなど思いだした。いろいろこわくなったので、やっとのことで道路よりも少し高い駐車場に車を停めて、雨がおさまるのを待つことにした。

8月8日、県内では局地的な大雨が降り、各地で、冠水、浸水被害が起きた。盛岡市付近で1時間に約100mmの雨が降ったということで、「記録的短時間大雨情報」が発表された。

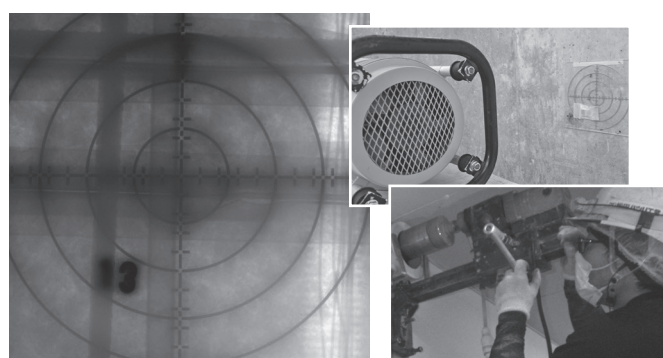
8月、千葉豪雨が発生した。9月にも大雨によって大きな被害が発生した。身の回りの複数の人たちが、当時、夜間に冠水した道路を車で移動していた話や、水が引いてから通行した話を聞かせてくれた。夜、強い雨が降る中、冠水した道路を走っていたら、ハザードランプを付けたまま停まっている車が何台もあったこと、停まった車を避けながら走って、何時間も目的地に着けなかったこと、水が引いた後に、停まったままの車が残されていたこと。

8月8日、予想していなかった強い雨が急に降り出して冠水していく道路で、どこが高いか低いかもわからない土地勘のなさと、冠水した道路上を周囲の車につられて走る逃げ場のなさを感じながら、進行方向の先では雨がおさまって状況が改善するのではないか、と期待して走り続けていた。内水氾濫が、どこでも、急に起きうる災害であることと、引き返す判断の難しさを改めて実感した。

※いわて防災学教室のバックナンバーは、岩手大学地域防災研究センターのホームページ「公開情報」で閲覧できます。

ア ス ベ ス ト
ダイオキシン
RCF(リフラクトリーセラミックファイバー)
PCB・鉛
東北ターボ工業

岩手県の企業では「初」のX線の非破壊検査をします



ハツリ工事、あと施工アンカー、鉄筋探査、コア抜き、カッター工事、解体工事、切断解体工事、耐震スリット工事、樹脂接着剤注入工事、産業廃棄物収集運搬

株式会社 松田ハツリ工業

岩手県紫波郡紫波町中島字前郷171
☎019-676-3520 https://matuda-haturi.com/



無料の動画でCPDSがとれる

最新の技術工法を映像と音声でわかりやすく習得できる!

セミナーや研修会に参加することなく、WEB上で受講できます。

時間と場所の制約がないので多忙な毎日を送る皆さまに最適です。

簡単操作で誰でも手軽に!



CPDS認定動画

CPDSは、全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度です。本サイトのCPDS認定動画は、同会のプログラム認定(インターネット学習)を受けています。この動画を視聴し、出題されるテストに合格すると、受講証明書がダウンロードできます。受講証明書を提出すれば、CPDSのユニットが取得でき、公共工事の入札や入札参加登録時に加算されます。

「建設技術・工法動画サイト」 <https://cpds.kentsu.co.jp>